

特集

防災・火災予防の普及に取り組む 女性消防隊「ひまわり」に聴きました

市民と議会をつなぐ特集ページです。
今回は、女性消防隊「ひまわり」に防災・火災
予防の普及や救命指導のサポートなどの活動に
ついてお聴きしました。

いざという時に、一人ひとりが正しい行動や応急手当が行えるように活動をしています。

〈女性消防隊に入隊された動機やきっかけは何ですか？〉

- ・先輩から声を掛けていただき女性消防隊の存在を知り、市民と関わる活動をしたいと思入隊しました。
- ・女性消防隊の存在は知りませんでした、普通救命講習会に参加した際に、指導してくれた女性隊員の方が面白く、私もやってみたいと思入隊を決めました。入隊当時は、菊川市に戻ってきたばかりで、時間を持て余していたため地域貢献をしたいという気持ちがありました。
- ・職場の先輩が消防団長をされていて、女性消防隊がないため女性消防隊を作りたいとこのことで発足に携わりました。
- ・市職員で防災関係の仕事に携わった事がきっかけです。
- ・主人が長年消防団員を務め、その姿を見ていたため、自分も社会貢献をしたいという気持ちから入隊を決めました。



〈女性隊員が主に行っている活動はどんな活動ですか。災害発生時と平時の違いは？〉

- ・男性消防団のような災害への出動はなく、主な活動は防災や火災予防の啓発です。学ぶことはまだありますが、災害発生時には知識を活かし、それぞれ地元で活動をしていきます。

- ・市内のこども園等に出向き防火教室や花火教室を行ったり、わくわく消防体験など防災関係のイベントや救命講習のサポートを行います。救命講習は、定期的に消防署で行っている心肺蘇生法や応急手当などを学ぶ普通救命講習会です。

- ・消防団員募集のPR活動としてチラシやポスターの作成、年1回の広報誌「ひまわり」を作成しています。

- ・火災などを未然に防ぐことや、災害発生時に一人でも多くの市民の命を救うため、救命講習などの普及活動を行っています。現場に駆けつけて助けることも大切ですが、市民一人ひとりが防災の意識を持ち、いざというときに正しい行動や応急手当を行えるように啓発活動も重要と考えており、その役割を担っているのが女性消防隊と思っています。

- ・活動は年間20回程度で、月1回の定例会や訓練、イベントへの参加などです。